

- 10/09・経常黒字8月23.4%減 原油高で2カ月連続貿易赤字 災害で訪日客数伸び鈍化
・世界の成長率下振れ IMF18年予測 貿易戦争が影響
- 10/10・米中「新冷戦」の瀬戸際 「ペンス発言」端緒 亀裂、外交・安保にも < 1 >
米、中国封じ先鋭化 産業スパイ容疑で高官摘発 投資規制も幅広く
・新卒一括採用転機に 経団連、ルール廃止発表 日本型雇用見直し迫る
・新興国11兆円流出恐れ IMF分析 米利上げなど 08年金融危機時に匹敵も
- 10/11・日経平均、一時1000円超安 NY株急落 金利上昇を懸念 < 2 >
・トランプ氏「FRB狂ってしまった」 株安受け利上げ批判
- 10/12・NY株831ドル下げ(10日)、日経平均915円下げ(11日) < 3 >
株安連鎖、世界揺らす 米金利上昇引き金
・株安連鎖警戒続く NY株545ドル下落(11日) 日経平均一時250円超安(12日)
・FRB国債保有を圧縮 米金利上昇の一因に
・中国、9月対米輸入が1%減少 1年9カ月ぶり 追加関税響く
米国向け輸出は14%増 貿易黒字は21%増の341億ドル、単月として過去最高を更新
- 10/13・中国新車販売11%減 9月239万台 前年同月を3カ月連続で下回る
GMの7-9月14.9%減 フォード9月42.8%減 中国株下落などで消費心理冷える
・経済リスク 動けぬG20(財務相・中央銀行総裁会議、バリ島) 12日閉幕
貿易戦争「当事国で解決を」 市場混乱にも結束遠く
・中国、打算の対日急接近 自動運転技術で連携合意 米の規制強化に備え
・トルコ拘束米牧師帰国へ 対立緩和で経済好転も
・NY株、4日ぶり反発 287ドル高、週間は1107ドル安、史上5番目の下げ幅
株安連鎖、不安抱え一服 堅調米景気が下支え
- 10/14・ムニューシン米財務長官「日本に為替条項を」(13日) < 4 >
TAG交渉の「目的」 ドル高に募る焦り 日本側、困惑広がる 農業・自動車でも警戒感
・フェイスブック2900万人分流出 個人情報、悪用リスク増す
- 10/15・英EU離脱、アイルランド国境など「複数の問題なお未解決」首席交渉官会合で
- 10/16・日経平均反落15日423円安 「為替条項」発言、円高に警戒感
・「消費増税へ政策総動員」 首相、来年10月に10%表明(15日臨時閣議)
・日中、知財巡り新対話 26日首脳会談 通貨協定再開へ 立ち位置難しく < 5 >
・米シアーズ破産法申請 小売りの「アマゾン抵抗力」生き残りを左右

<1>

ペンス米副大統領の対中発言(4日)のポイント

- 中国は米国の民主主義に干渉
- 政治・経済・軍事的な手段を総動員し影響力拡大
- 自国民を抑圧する方向に180度転換
- アジアやアフリカに「借金漬け外交」を展開
- 南シナ海での中国艦船による異常接近は「無謀な嫌がらせ」
- 米国は国益や労働者、安全保障を守るため果敢に行動

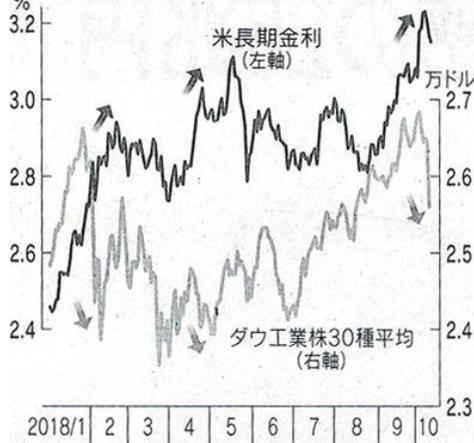
<2>

日米で株が急落した



<3>

金利上昇発の株安は今年3回目



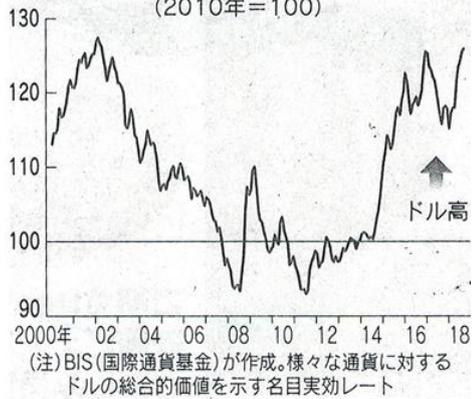
10月に入り世界で株安が連鎖した

台湾	-10.9%
韓国	-9.1
中国	-8.4
日本	-6.3
インド	-5.4
英国	-4.9
ドイツ	-4.4
タイ	-4.4
米国	-3.2

(注)9月末比の株価騰落率、日本時間11日午後5時時点、米欧は10日終値との比較

<4>

足元は歴史的なドル高局面
(2010年=100)



<5>

日中首脳会談で目指す主な合意

▼経済・金融
通貨危機時に人民元と円を交換する「通貨スワップ」を再開
先端技術・知財分野で連携する新たな枠組みを創設
第三国でのインフラ開発協力で覚書締結
東日本大震災以降続く食品の輸入規制の緩和
▼安全保障
制服組トップの統合幕僚長が11年ぶりに訪中
海難救助の協力のあり方を定める協定に署名